

日本野鳥の会大阪支部植物観察会 第71回 大阪市大 私市植物園

(サクラ・カタクリ・メタセコイア、そして巨樹)

2017.4.5(水) 9:30~14:00

日本野鳥の会大阪支部

平 軍二 齊藤 健

今日は大阪市大私市植物園での観察会、何れも皆さんご存知のテーマことと思いますが、以下のテーマを予定しています。

- ・山野草・カタクリ
- ・サクラ
- ・巨樹、そしてメタセコイア

I 私市植物園 周辺の



1948年



2008年



1975年



1985年

II 植物園の花々

①カタクリ

カタクリ 「かたかご」の花として万葉集に歌われるほど、古くから人里にあった野草で、現在でも人気抜群を誇っています。(以下、植物園を管理されているK氏の説明より)
 発芽1年目の個体は細い糸状の葉(下左を、2年目から7-8年程度までは卵状楕円形の1枚の葉(下中)だけで過ごし、鱗茎が大きくなり、2枚目の葉が出てから花をつける。
 お天気が良いと花卉が反り返るが、夕方になると閉じる。この繰り返しが一週間ほど続く。
 1株の花から種子20~30粒できるが、種子から発芽するのは100粒蒔いて2~3株とのこと、また花が咲き続ける期間は、咲き始めてから7~8年で、花株の寿命が尽きるそうです。



カタクリ1年目の幼葉



カタクリ2年~ 幼葉



カタクリ

②キクザキイチゲ

カタクリと同様、春先に花を咲かせ、落葉広葉樹林の若葉が広がる頃には地上部は枯れてなくなり、その後は翌春まで地中の地下茎で過ごすスプリング・エフェメラル



キクザキイチゲ



キクザキイチゲ 03/25/



カタクリ

③木々の花(桜以外)



アンズ



アンズ



アブラチャン



ウグイスカグラ



オオバクロモジ



カツラ



キブシ



キンギョツバキ



キンギンボク



クロモジ



コバノミツバツツジ



タムシバ



ツノハシバミ



ニワトコ



オオバヤタケ(花)



ヒサカキ雌花



ヒサカキ雄花



フサザクラ



ヤマウグイスカグラ

竹の花↑ 4/1植物園を管理されている K氏による1時間の見どころ案内に参加、竹の花を紹介していただきました。

ヒサカキ(雌雄異株)花の違い

Ⅲ サクラ

私市植物園には「さくら山」と名付けられた桜の名所があり、50種以上の桜が植栽されています。3月25日1時間ほど植物園内を歩きましたが、咲いていた桜は、オオカンザクラ(大寒桜)のみでした。今日はエドヒガン=イトザクラなどが咲いていると思います。下見時に咲いていなかったもので、3年前に写した写真も載せています。

②サクラの花・葉による違い

	花期	花の色・大きさ	葉が出る時期	新葉の色	萼筒・萼片
ソメイヨシノ	4月上旬	淡いピンク	花の後	緑味がる	有毛で鋸歯多
ヤマザクラ	4月上旬	白色~淡いピンク	花と同じ	赤味がる	無毛で全縁
カスミザクラ	4月中旬	白色	花と同じ	緑味がる	有毛で全縁
オオシマザクラ	4月上旬	白色で大型	花と同じ	緑味がる	無毛で鋸歯有
エドヒガン	3月下旬	淡いピンクで小型	花の後	緑味がる	有毛で鋸歯有

③サクラの花

ソメイヨシノ サクラといえばソメイヨシノ、国内で最も多く栽培されている園芸品種です。徳川時代にエドヒガンとオオシマザクラの交配で生まれ、「エドヒガンの花先・葉後」と「オオシマザクラの花の大きさ」と、両方の長所を受け継いでいます。萼毛を実物で確認してください



ソメイヨシノ



ソメイヨシノ

ヤマザクラ ソメイヨシノが生まれる前は、日本のサクラの代表、花の名所・奈良県吉野山の桜もヤマザクラです。4月初旬、交野市の山に咲いているサクラのほとんどはヤマザクラです。花と一緒に出る幼葉が赤いので、赤っぽく見えます。



ヤマザクラ



ヤマザクラ

カスミザクラ ソメイヨシノやヤマザクラより2週間ほど遅く咲くサクラ。交野市の山で4月中旬から下旬に咲いていたらカスミザクラです。



カスミザクラ(吹田)



カスミザクラ(吹田)

オオシマザクラ ソメイヨシノの一方の親、幼葉が緑色なので、全体が青白く見え、ソメイヨシノとの対比でわかります。下見時につぼみが膨らんでいたが、今日はどうでしょうか。



オオシマザクラ吹田



オオシマザクラ吹田

エドヒガン ソメイヨシノのもう一方の親、またシダレザクラの親です。シダレザクラの額筒と比較し確認してくださいね。



エドヒガン



エドヒガン

カンヒザクラ(吹田) 早咲きの桜の親となっている桜。花が赤い早咲きの桜は、カンヒザクラが関与しているとして間違いないようです。

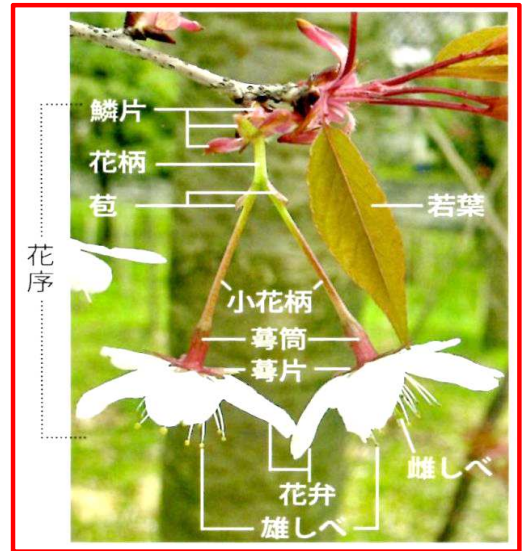


カンヒザクラ



カンヒザクラ

①サクラの花のつくり



大原隆明:サクラ・ハンドブック
(文一総合出版 2009年)



オオカンザクラ



コブクザクラ



オオカンザクラ



コブクザクラ

↑オオカンザクラ

カンヒザクラ
+オオシマザクラ
の交配種で、私市一の早咲き桜

↑コブクザクラ

シナミザクラ
+もう一方の親
は諸説あり(マメザクラなど)



ベニシダレ



ヨウコウ



ベニシダレ



ヨウコウ

↑ベニシダレ

エドヒガンのしだれるタイプ

↑ヨウコウ(吹田)

広義のソメイヨシノであるアマギヨシノ+カンヒザクラの交配

④さくら山

桜山 開花マップ



※近年 04/01/2017 13:19
名前のないものは調査中です

展示室

研究棟

Ⅳ 私市植物園の巨樹

巨樹とは地上1.3m高さで幹周り3m以上の大きな木を言い、1990年の全国調査で5万本ありという結果が報告されています。一般の方が良く知っておられる屋久島の縄文杉は幹周り16mで全国12位でした。この時、**交野市に巨樹5本**と報告されているが、植物園は調査されていなかったようです。

①植物園の歴史

- 1941(昭16)3/10 大阪市社会部の興亜拓殖訓練道場として開設
- 1945(昭20)9/11 大阪市経済局の農事練習場となる
- 1950(昭25)4/1 **大阪市立大学に移管(理工学部附属植物園)**
- 1954(昭29)6/1 開園・第一期創設事業完了とともに一般公開
- 1958(昭33)年7月 温室建設
- 1993～2001年(平5～13) 研究棟・作業棟・事務棟の新築
興亜拓殖訓練道場時代の建造物の撤去

②植物園の巨樹

私市植物園で一番太い樹は、**幹周り4.6m**のクスノキです。植物園が開園されてから60年なのに、クスノキの太さは樹齢100年以上と思わせるほどです。ここに植えられたとき、枝を切って運ばれてきたとのことで、樹齢は100年未満とのことです。



(枝張りの範囲から、成長していることがわかります。)

空から見た巨樹のクスノキ

↓左 1975年 右 2008年↓



V メタセコイア

①メタセコイア誕生

現在、どこの公園にも植栽されているメタセコイアですが、日本では絶滅していた植物でした。経緯は以下の通りです。

- 大阪層群と呼ばれている地層(次ページ)の80万年前より前の地層の中に、常緑のセコイア(orセコイアメスギ)に似ている落葉樹の実・種子・葉を発見、新種として発表された。発見者は大阪市大三木茂博士、セコイアの仲間として**メタ(後の・変わった(meta))セコイア**と名付けた。
- その後、中国四川省で現存していることが発見され、アメリカに持ち帰って育てられた木100本が日本に送られたが、その1本が私市植物園に植えられている。 →→



メタセコイア(最初の導入木)

②メタセコイア太さと樹齢

私は吹田市で幹周2m以上の木を大木と称して調査しています。

私市植物園の「最初の導入木」は、大阪一の古いメタセコイアなので、大阪府で一番太い筈と思っていました。

吹田市に幹周260cmのメタセコイアがあったので、私市植物園で最初の導入木を計った所220cm(今回は225cm)しかありませんでした。木の太さは樹齢(植えられてからの年齢)ではなく、同じ樹種でも太陽の光をどれだけ集めているか、によって決まることを実感しました。

最初の導入木の近くにメタセコイアが多く、その中に最初の導入木より太いメタセコイア(240cm)があるので、皆さんにも実測してもらい、実感してもらう予定です。

